

特定ケア看護師が組織にもたらす効果と 看護師の新たなキャリアデザイン

横須賀市立うわまち病院 看護部長 伊藤佳子

特定行為研修制度がスタートして

「特定行為に係る看護師の研修制度」は、保健師助産師看護師法に位置付けられた研修制度で、2015年10月から開始されています。手順書により特定行為を行うには、必要な研修を受講しなければなりません。地域医療振興協会においても2015年からNDC研修センターが設立され、特定ケア看護師(以下NDC)の教育がスタートしました。

本部からは、当協会がNDCを育成する目的について説明があり、その趣旨は十分に理解することができました。しかし、当院でこの研修に興味をもつ職員がいるのか、またどのような人材を受講させるべきかについては頭を悩ませました。そして、院内にこの研修を周知する上では、看護管理者の理解が不可欠であるということも実感しました。本部からは定期的に、特定行為研修制度の概要や教育プログラムの説明を受けることができ、少しずつではありますが特定行為研修修了後の看護師の活動をイメージすることができました。

当院では2期生から研修に参加させていただきました。この2期生は、ICUを中心に勤務し、また集中ケア認定看護師として、すでに組織横断的な活動をしていましたので、特定行為研修を受講することでさらに活躍の場が広がると思いき、期待を込めて送り出したことを記憶しています。

そして、うわまち病院として、第1号のNDCの活動をサポートし、軌道にのせることが、次につ

なげる上で重要なポイントになると考えました。

うわまち病院におけるNDCの活動

当院は28診療科、病床数417床を有する一般急性期病院で、病院の理念である「私たちは、優しい心、深い知識、高い技術をもって安全に配慮した、良質な医療を提供し、地域社会に貢献します」ということを掲げています。地域の医療機関との診療連携を大切にし、3次救急医療機関として高度かつ専門性の高い医療を提供することを使命としています。

当院に在籍しているNDCは7名で、2021年度からは総合診療センターに配属され、総合診療科および集中治療部を中心に業務を行っています。

総合診療科においては、内科チームの一員として、医師とミーティングを行い、患者の診察や病棟マネジメントを行っています。

また、週1回は外来業務に従事し、問診や身体診察などを経験し、NDC自身の臨床推論の能力を高める機会にもなっています。

その他にもラピッドレスポンスシステム(以下RRS)やラインサポートチーム(PICC挿入)などの横断的な活動も行うことで、組織内にNDC



ICUにてPICCを挿入
(7期生 日高)

の活動が認知されてきていることも事実です。また、手術室経験の豊富なNDCは、周手術期分野で麻酔科医師と連携し、麻酔管理のサポート業務を行っています。このように個々のNDCが専門分野や得意分野を活かした活動も少しずつ進んできています。当院では、医師の理解や協力もあり、NDCが安心して活動できる土壌があることはとても大きいことだと思っています。



病棟にてPICC挿入の準備中（4期生 清雲）

課題と今後の展望

令和6年4月1日より医師の時間外・休日労働の上限規制が適用されるにあたり、特定行為研修修了者へのタスク・シフト／シェアによる医師の労働時間短縮の効果が大きいことが指摘されています。このような状況を踏まえ、特定行為研修修了者やその他の専門性の高い看護師の育成と確保が必要であることはいうまでもありません。看護師が診療の補助として医療行為を実施するときには医師の指示が必要です。しかし、特定行為に係る研修を修了した看護師は、手順書に基づき、患者さんの状態を見極め、タイムリーな介入ができます。

医師の業務負担の軽減だけでなく、患者の状態変化時に素早く対応することができることで、予期せぬ急変を減らすことにつながり、医師・看護師の負担軽減につながるのではないのでしょうか。

当院は協会施設の中では1番多い7名のNDCが在籍して活動を行っています。

さまざまな診療場面で活躍するNDCの活動

は、医師・看護師をはじめ、コメディカルにも認知されるようになってきました。しかし、看護師全体からすれば、まだ一握りの存在です。

このようにまだ始まって数年のNDCの活動に対しては課題も多くあります。実際に動き始めたからこそ気づく内容も多く、課題に関しては1つ1つ丁寧に検討していく必要があります。

院内にはNDCだけでなく、専門看護師や認定看護師もスペシャリストとして活躍しています。このように専門的な知識や技術を有する看護師の存在は、臨床現場で教育的な関わりをし、看護の質を向上させる上では不可欠な存在です。そして、専門性の高い看護師の育成と確保は、今後さらに高度化する医療現場において重要な存在になることは間違いありません。看護師がキャリアデザインを考える上で、NDCを目指すことも選択肢の1つであると考えています。地域医療振興協会でも育成しているNDCは、特に医師不足における地域で活躍できる人材を育成するというミッションがあります。現時点では、病院内での活動が中心になっていますが、地域医療にも貢献できるように力をつけていってほしいと思っています。

NDCの活動が今後さらに発展するためには、研修受講に向けてのサポートや研修修了後の体制づくりを組織全体で構築していきたいと考えています。



総合診療センター所属の特定ケア看護師